

平成 30 年度（第 2 回）薬学教育協議会生化学分野教科担当教員会議 議事録

日時：平成 31 年 3 月 23 日（土）12:15 ～ 12:45

場所：日本薬学会第 139 年会 M 会場（幕張メッセ 国際会議場）

出席者：全国大学薬学部において生化学教育に携わる教員 65 名（招待者 1 名および代理出席者 6 名含む）

委任による出席者：26 名

配布資料

1. 会議次第
2. 出席者名簿
3. アンケート結果報告
4. 2019年度委員長校、副委員長校、参与校の選出について
薬学教育協議会生化学分野教科担当教員会議開催日程について
5. 1) 生化学分野教科担当教員会議会則
2) 生化学分野教科担当教員会議役員構成内規
6. 生物系薬学部会の紹介

会議内容

1. 開会の辞
高木教夫委員長（東京薬科大学）より、開会の挨拶があった。
2. 議長の選出
会則に則り、高木委員長が議長に選出された。
3. 生化学系実習に関するアンケート結果の報告
資料 3 に基づき、各大学より事前に回答頂いた「生化学系実習に関するアンケート」の集計結果について高木委員長より、詳細な報告があった。アンケート結果に対する意見は特になかったが、「今後の生化学実習のあり方について」等では、多数の意見が寄せられた。
4. 2019 年度委員長校、副委員長校、参与校の選出について
武田弘資副委員長（長崎大学）より、2019 年度の参与校・参与として、明治薬科大学・紺谷圏二教授が推薦され了承された。よって 2019 年度は、委員長校・長崎大学（武田弘資教授）、副委員長校・北海道医療大学（青木隆教授）、参与校・明治薬科大学（紺谷圏二教授）に決定した。（資料 4）
5. 2019 年度（第 3 回）薬学教育協議会生化学分野教科担当教員会議の開催について
2019 年度委員長の武田副委員長より、2019 年度（第 3 回）薬学教育協議会生化学分野教科担当教員会議を日本薬学会年会（第 140 年会、京都国際会館 他）期間中に、年

会会場にて開催することが提案され了承された。(資料 4)

6. 日本薬学会生物系薬学部会活動について

資料 6 に基づき、2019 年度日本薬学会生物系薬学部会長 杉本幸彦教授(熊本大学)より、日本薬学会生物系部会活動の紹介があり、主催する学会・シンポジウムへの参加や協力の依頼があった。

7. 薬学教育協議会より

薬学教育協議会代表理事 本間浩教授(北里大学)より、次回のモデル・コアカリキュラム改訂では最善の改訂となるように、現モデル・コアカリキュラムの問題点や改善点について本会議で予め議論を重ね、その結果を活かして頂きたいと協力要請があった。

8. その他、閉会の辞

その他として、問題提起、意見、質問等を募ったが、とくに出席者からの発言はなかった。次年度アンケート等への協力依頼の後、高木委員長より閉会が宣言された。

以上、議事の経過及び結果を明確にするため、本議事録を作成する。

(記録者： 参与 北海道医療大学 青木 隆)

(事務局：東京薬科大学 応用生化学教室・生化学教室)

平成 31 年 3 月 26 日

平成 30 年度 生化学分野教科担当教員会議
議長(委員長) 東京薬科大学 高木 教夫